

## その名は

(イザヤ9・1〜7)

きょうはクリスマス合同礼拝です。この朝集まっている皆さまは、2歳のお友だちから80歳を超える方々ですね。そこで、小さいお友だちにも分かるように、お話をします。

### 一、イザヤせんせい

この、ひげを生やして、杖を持つているおじさんは、だれでしょうか？ まわりの人が一所懸命に、この人の言葉を聴いているようです。こ



のおじさんは、預言者でした。預言者は、神さまのお考えを人々に語る人でした。占い師ではありません。神さまが預言者に大切なメッセージを語り、そのメッセージを預言者が語りました。この預言者の名前はイザヤでした。

イザヤ先生が二十歳ぐらいの時のことです。神殿でお仕事をしていたら、神さまが「だれを、わたしは遣わそう。だれがわたしのために行くだろうか」と語っておられる声を聞きました。イザヤは勇気を出して言いました。「私を遣

わしてください」と。こうしてイザヤ先生は、死ぬまで、神さまから言葉をいただいて人々に語る、預言者になりました。預言者はとてもつらいお仕事でした。神さまが「威張ってはいけません。神さまを恐れ敬いなさい」と語られたら、それを自分の言葉で語らなければなりません。そういうわけで、どの預言者も、たいへんな人生を送りました。イザヤ先生が、神さまの言葉を受けて人々に語ったのはイエスさまがお生まれになった、七百年も前のことです。

### 二、しどうしや

イザヤ先生は、神さまから言葉をいただきました。「ひとりのあかちゃんか、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、生まれる。そのお方は、『驚くべき指導者』と呼ばれる」と。指導者って、どんな人だか、わかりますか？ あらう方向に、みんなを導く人です。けっこうたいへんです。時々、反対のことをする人がいます。「立っていなさい」と言うのと、座るんですね。「座っていなさい」と言うのと、立っているんですね。「勉強しよう！」と言うのと、遊びに行ってしまう。「じゃあ、勉強しなくて良いよ」と言うのと、「ありがとう！」と言うと、どこかに行ってしまう。イザヤ先生が預言した「驚くべき指導者」とは、みんなを神さまが喜ばれる方向に教え導く指導者です。少しもぶれない指導者です。「そういう指導者が

生まれます」と、神さまからメッセージをいただき、人々に語りました。

### 三、ちからあるかみ

二番目の名前は「力ある神」です。「えっ？ 人間の赤ちゃんなのに『力ある神』と呼ばれるのですか。そんなことはありません。『力ある神』と、みなさんは思われるでしょう。ですが、イザヤ先生は『力ある神』と呼ばれる赤ちゃんが生まれます」と、神さまからメッセージをいただき、人々に語りました。

### 四、えいえんのちち

三番目の名前は「永遠の父」です。みなさんは「おとうさん」と聞いて、どんな気持ちになるでしょうか。「大きい」「えらい」「すばらしい」でしょうか？ それとも、「わがまま」「尊敬できない」「こんちくしょう！」でしょうか。実は、「父」には、みんなが尊敬するという意味が含まれています。でも、いつまでも尊敬されるおとうさんなんているでしょうか？ まず、いません。ですが、イザヤ先生は、いつまでも尊敬される赤ちゃんが生まれると、神さまからメッセージをいただき、人々に語りました。

五、へいわのおう  
四つ目は「平和の王」です。昔々のことです。どこの国にも王さまがいました。王さまは威張っていました。王さまはわがままでした。王さまは、大勢の女性を奥さんにしました。ですが、イザヤ先生は、『平和の王』と呼ばれる赤ちゃんが生まれます」と、神さまからメッセージをいただき、人々に語りました。

六、それはだれ？  
もう一度申します。イザヤ先生は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の王と呼ばれる赤ちゃんが生まれる」と、神さまからメッセージをいただき、人々に語りました。そんな人って、いたんでしょうか？「いました」と、聖書は語っています。そのお方はイエスさまです。イエスさまは神さまでした。ですが、私たちとまったく同じ人間として生まれてくださいました。イエスさまが生まれてくださったことをお祝いするのがクリスマスです。



イエスさまは、成長して、三十五歳ぐらいの時に、自分から進んで十字架にかかり、死んでくださいました。私たちが愛し、義なる神さまから罪人である私たちにくだる罰を身代わりに受けてくださいました。そういうイエスさまを、神さまがよみがえらされました。イエスさまは天に昇って行かれ、今は天におられます。

※イラストは、『成長視覚教材2019年10・11・12月号(第167号)』(いのちのことは社CS成長センター発行)に着色をしたものです。